

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 20年 4月 16日

【評価実施概要】

事業所番号	2872300419		
法人名	有限会社 豊地質		
事業所名	グループホーム ゆたかの郷		
所在地	〒673-0423 兵庫県三木市宿原1263-86 (電話) 0794-83-8552		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	2008年2月25日	評価確定日	2008年4月16日

【情報提供票より】(20年 2月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 5月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8 人
職員数	8 人	常勤	5人, 非常勤 1人, 常勤換算3.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨鉄筋	造り
	3階一部2階建ての	~1・2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,750~40,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(200,000 円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	210 円	昼食	315 円
	夕食	525 円	おやつ	105 円
	または1日当たり 1,155 円			

(4) 利用者の概要(2月 10日現在)

利用者人数	8 名	男性	0 名	女性	8 名	
要介護1	1名	要介護2	2名			
要介護3	4名	要介護4	0名			
要介護5	1名	要支援2	0名			
年齢	平均	83 歳	最低	73 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三木山陽病院、おおにし歯科医院、なんばクリニック
---------	--------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>・我が家が一番との思いとともに、利用者みんなが一つの家族であるホームを目指している。自分の住まいを開放、提供し、利用者と一緒に生活に心がけている。常に利用者一人ひとりの身だしなみ、清潔を心がけ、全職員で些細なことにも気配りのあるケアに取り組んでいる。利用者の笑顔に職員の笑顔が答え、安心できる信頼関係を築くように努めている。認知症特有の心身の低下が今後さらに予想されるが、個別ニーズにあった対応がこれからの課題といえよう。</p>
--

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)</p> <p>・ホームの広報誌「花便り」の配布により、具体的にホームを知ってもらっている情報誌として活用している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:第三者4)</p> <p>・職員の意見を参考にし、管理者がまとめた。職員は、普段実践していることを再確認できるとともに、さらに向上を目指す前向きな取組みが必要と実感した。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <p>・グループホームの役割や当ホームの特徴、行事案内など生活全般の様子を伝えている。地域の催しへの参加と合わせホーム主催の行事のお誘いを通じて協力してもらえよう働きかけていきたいと考えている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <p>・家族来訪時、電話で些細なことでも報告し話すようにしているが、意見、苦情等はない。意見が出やすいよう個別による書面での案内を検討している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <p>・代表者、管理者の自宅でもあり、地域との関係性は密である。自治会の役員に携わり、事あるごとに協力し、さらに所有のふれあいサロンを開放して交流の機会を積極的に持っている。近所の子どもたちも気軽に立ち寄り利用者との触れ合いを双方向に楽しんでいる。</p>

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・「地域社会とのつながりを大切に、地域の方との交流会を楽しんでいただき、よりよい環境づくりにつとめる」方針に沿って支援している。管理者の自宅を兼ねたホームが自分の家のように安心できる住処でありたいと考えている。		・地域との関わりを大事に、これまで築かれた関係性をさらに発展させるためにも、より具体的な独自の理念が期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・少人数でもあり、一人ひとりに目が行き届いた対応を実践している。毎朝のミーティングで利用者の個々の様子を最大もらさず確認するよう心がけている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・代表者、管理者とも永年住みなれた地域で良好な関係ができています。自治会の役員として子ども会や老人会の行事を企画、参加して交流に努めている。誰もが気軽に立ち寄れる「いこいの家」を常時開放し、ふれあいの場として活用している。		
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価は、職員の意見を基に管理者がまとめた。自己評価、第三者評価とも、振り返りの機会ととらえ、ケアの現場で活かすことを全職員が認識している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・地域包括支援センターの職員、地区民生委員、地区役員、地域のボランティアと、ホームからは家族、利用者の代表者、管理者とで構成している。ホームの理解、地域の協力要請などを説明し意見をもらっている。参加家族は地域の状況を知る機会となっている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・事務手続き等の他、利用者の手作り作品を届けたり、行事の写真をそえて手紙を出し、様子を伝えている。作品は市役所内に飾ってもらっている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・毎月、一人ひとりの様子を写真を添えた手紙で送付している。金銭管理については明細も一緒に報告している。必要に応じて職員が電話で報告し、コミュニケーションを大事にしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・家族来訪時に、意見などを聞くよう努力している。運営推進会議に参加している家族からは、情報交換できる機会となっていると言われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・これまで異動等は無かった。管理者は、職員の個々の状況を考慮し、利用者との馴染める環境を整えるようにしている。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・障害を持った職員は、働きながら学び資格をとった。疾患を持った利用者のために主治医が講師になり勉強会をしている。外部研修案内の情報提供はしているが、積極的な参加にはいたっていない。		・継続的な内部での勉強会は必要だが、外部研修の機会の確保と積極的な参加が求められる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・個人的な行き来はあるが、交流する機会はまだ無い。		・職員自らのサービス向上のために、勉強会や交流会への参加の機会をつくる努力が求められる。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・本人の好みや希望を聞きながら、一方でホームの雰囲気を体験してもらい、慣れていただくよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	・ことわざを教えてもらったり、学ぶことが多い。心から喜怒哀楽を共にし、時には家族のように怒ることのできる関係性をつくりたいと心がけている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・機会を捉えて、希望や思いを聞いて対応している。把握の難しい人は、これまでの様子や表情から汲み取るようにしている。排泄の声かけのタイミングについては特に配慮している。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・本人の希望と職員からの日々の報告を基に計画を作成している。出来るだけ家族に相談し、意見をもらうように努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・定期及び必要に応じて見直している。疾患等を持った人は、身体的、食事内容等状況の変化に合わせて見直している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・事業所の空き部屋を地域の介護に困っている人に日中利用して貰っている。医療連携体制を実施し、訪問看護が週1回、医師の往診が2週間に1回あり、利用者が安心して生活できるよう配慮している。外泊の送迎も支援する等柔軟に対応している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・個々のかかりつけ医の受診は家族が行っている。家族が行けない時は、事業所で代行している。</p>		<p>・事業所はかかりつけ医との連携を築いていきたいと考えている。</p>
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・基本的には経口摂取できることが条件。看取りはできないことを、契約時に利用者、家族に伝えている。状況変化に応じ、その都度話し合いをして納得してもらっている。</p>		<p>・事業所は本人、家族の意向を汲んで事業所として対応できる最大の支援を検討することを望みたい。</p>
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・トイレ誘導等声かけは羞恥心への配慮に気を配っている。個人情報資料は利用者の見えないところに保管している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・利用者が皆そろって出来ることを重視し、全体での散歩や買い物を楽しんでいる。入浴は決った時間に行っている。</p>		<p>・入浴時間等職員側の都合を優先せず、希望にそった対応の工夫を望みたい。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・献立は利用者の希望を聞いて立て、旬のものやいただき物がある時は献立の変更もしている。職員は昼食を、法人代表と管理者は三食利用者と共にしている。食事の一連の流れの中で、会話が膨らんでいる。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・入浴は週3回午後の時間と決まっている。夏場は随時シャワーを浴びている。毎月(冬場を除き)1~2回近くの温泉に行って入浴を楽しむ。</p>		<p>・入浴時間と回数について、個人の好みを聞く方向が取れないか。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・食事の一連の作業、畑仕事等それぞれが役割を持っている。編み物、散歩、花いじり、外食等の楽しみや気晴らしが支援されている。近くの幼稚園の玉入れの紅白の玉を皆で作っている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・近くにある事業所所有の休憩所(憩いの家)に出かけたり、花壇の手入れをしたり天気の良い日はできるだけ外へ出るようにしている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・日中は施錠していない。職員が出て行く気配を見逃さないように見守りし、近所の人や地域の自治会にも協力を頼んでいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・出火場所、時間帯、地震の場合等状況設定をして、年2回避難訓練をしている。近隣住民に協力を依頼している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・大まかな摂取量を把握して、個別の栄養バランス、水分量は訪問看護と医師に相談している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・普通の家にある家具等が設置されていて、家庭的な雰囲気、利用者もくつろいでいる。行事の写真や花の写真が貼ってあって、利用者同士で楽しんでいる。観葉植物や熱帯魚も潤いを与えてくれる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・それぞれ好みのものを飾ったり馴染みのものを持ち込んで心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>		

 は、重点項目。